

問1 平氏が滅亡し、武士が政治の実権を握るきっかけとなった出来事が起きたのは西暦何年？

1. 1189年 2. 1192年 3. 1180年 4. 1185年

問2 武士の気風を反映し、写実的で力強い特徴を持つ、鎌倉時代に栄えた文化を何という？

1. 国風文化 2. 鎌倉文化 3. 天平文化 4. 室町文化

問3 鎌倉幕府において、将軍が御家人に本領を安堵したり新恩を給与したりすることと、御家人が軍役などを果たすことの結びつきを何という？

1. 新恩給与 2. 本領安堵 3. 御恩と奉公 4. 年貢徴収

問4 座禅を通して修行し、自己の心を見つめることを重視する、鎌倉幕府から保護を受け武士に広まった仏教の一派を何という？

1. 禅宗 2. 浄土宗 3. 浄土真宗 4. 日蓮宗

問5 源頼朝の死後、将軍を補佐して幕府の実権を握った北条氏の役職を何という？

1. 管領 2. 老中 3. 将軍 4. 執権

問6 東大寺南大門に安置されている、力強い表現が特徴の金剛力士像を制作した仏師は誰？

1. 湛慶 2. 運慶 3. 快慶 4. 定朝

問7 一遍が踊り念仏を通して信仰を広めた、浄土信仰の中心となる仏を何という？

1. 釈迦如来 2. 薬師如来 3. 阿弥陀仏 4. 大日如来

問8 鎌倉時代、将軍が御家人に対し、本領を安堵したり新領地を与えたりすることを何という？

1. 御恩 2. 所領安堵 3. 新恩給与 4. 奉公

問9 鎌倉時代初期に焼失したあと、源平の戦いの後に再建された奈良にある有名な寺院を何という？

1. 興福寺 2. 法隆寺 3. 唐招提寺 4. 東大寺

問10 鎌倉時代後半に、荘園領主や幕府の支配に抵抗し、武力を行使して社会を混乱させた勢力を何という？

1. 寄人 2. 悪党 3. 浪人 4. 惣領

問11 鎌倉時代後半に、荘園領主や幕府の命令を無視して年貢を奪い、実力行使によって抵抗した集団を何という？

1. 海賊 2. 足軽 3. 悪党 4. 一揆勢

問12 鎌倉幕府が土地管理や年貢徴収を行わせるために、各所に配置した役職を何という？

1. 地頭 2. 国司 3. 郡司 4. 守護

問13 『平家物語』を琵琶を弾きながら語り歩き、物語を全国に広めた人を何という？

1. 絵師 2. 琵琶法師 3. 連歌師 4. 勧進聖

問14 鎌倉時代に栄西によって伝えられ、曹洞宗とともに武士から厚い支持を受けた禅宗の宗派を何という？

1. 日蓮宗 2. 時宗 3. 浄土宗 4. 臨済宗

問15 元寇の際、防衛のために石築地が築かれた現在の福岡県にある湾を何という？

1. 博多湾 2. 壇ノ浦 3. 鎌倉 4. 大宰府

答え合わせ・解説

問1	答え 4 1185年	1185年は、壇ノ浦の戦いで平氏が滅亡した年です。この年、源頼朝は朝廷から守護・地頭の設置権を認めさせ、全国的な支配力を強めました。これにより、貴族中心の政治から、武士が政治の主導権を握る中世社会への移行が決定づけられました。
問2	答え 2 鎌倉文化	鎌倉文化は、武士の気風や、新しく起こった仏教の影響を受けています。彫刻では写実的で力強い表現が、文学では『平家物語』のような軍記物語が人々に親しまれました。また、禅宗の影響を受けて、簡素で力強い美意識が確立されたのも大きな特徴です。
問3	答え 3 御恩と奉公	将軍が武士（御家人）の土地の支配を保障することや、新しい土地を与えることを「御恩」といいます。対して、武士は京都や鎌倉の警備をしたり、戦いの際に軍役を務めたりする「奉公」を行いました。この相互の契約関係が幕府の統治の基盤となりました。
問4	答え 1 禅宗	禅宗は、厳しい修行や座禅を通して、自らの内面を見つめることを教える仏教です。特別な書物よりも、師から弟子への心身を通じた教えを重んじました。その簡素で厳格な生活態度は、武士たちの気風と非常に相性が良く、幕府の庇護もあって急速に普及しました。
問5	答え 4 執権	執権は、はじめは将軍の補佐役として置かれていましたが、北条時政が初代となって以降、北条氏が世襲するようになりました。執権政治のもとでは、将軍は形式的な存在となり、北条氏が実質的な幕府の最高指導者として全国を政治を統括しました。
問6	答え 2 運慶	運慶は、それまでの仏像と異なり、筋肉の動きや表情の細部までリアルに表現する彫刻手法を確立しました。快慶らとともに制作した東大寺南大門の金剛力士像は、その写実的な表現の頂点といえます。この様式は、当時の人々に強い精神的なインパクトを与えました。
問7	答え 3 阿弥陀仏	阿弥陀仏は、無限の寿命を持ち、すべての生き物を救う仏と信じられていました。鎌倉時代には、念仏を唱えるだけで救われるという考えが民衆に受け入れられ、一遍のような僧侶たちが熱心に信仰を普及させました。
問8	答え 1 御恩	御恩は、主従関係の基盤であり、将軍が家臣（御家人）に対して「本領安堵（もともとの領地を認める）」や「新恩給与（手柄に応じて新しい土地を与える）」を行うことです。これに応じて御家人は奉公を行うというセットの仕組みにより、幕府は全国の武士を統率していました。
問9	答え 4 東大寺	鎌倉幕府の協力のもと、重源という僧が中心となり、東大寺の再建が進められました。全国から寄付を募り、当時の最高の仏師たちによって多くの仏像が新造されました。南大門の金剛力士像はその象徴として制作されたものです。
問10	答え 2 悪党	彼らは「悪党」と呼ばれ、有力な武士や農民などが混在した武装集団でした。法や権威に縛られず、独自の論理で武力を行使する存在でした。
問11	答え 3 悪党	悪党は、荘園領主や幕府の統制を無視して、力づくで年貢の徴収を妨害したり、所領をめぐる紛争を起こしたりした武装集団です。武士だけでなく、土豪や農民が含まれることもありました。
問12	答え 1 地頭	地頭は、荘園や公領において土地の管理、犯罪者の取り締まり、そして年貢の徴収を行うために配置されました。これにより、幕府は全国の武士を統制する強力なネットワークを得ました。
問13	答え 2 琵琶法師	琵琶法師は、琵琶の音色に合わせて、平氏の栄華と滅亡をドラマチックに語り伝えました。彼らが語る物語は、合戦の様子や英雄たちの活躍を生き生きと描き出したため、武士だけでなく、一般の民衆の間でも熱狂的に受け入れられました。
問14	答え 4 臨済宗	臨済宗は、栄西が中国（宋）から日本に伝えた禅宗です。座禅を通じて自分自身を見つめ直し、悟りを開くことを目的とします。座禅の際に問いかけを用いる「公案（こうあん）」という独特の修行方法があるのが特徴です。
問15	答え 1 博多湾	博多湾は、元軍の主要な上陸地点となりました。二度目の襲来（弘安の役）に備え、幕府は博多湾岸に「石築地（防塁）」を築かせ、元軍の騎馬隊が上陸するのを防ぐとともに、日本軍が弓矢で戦いやすいような工夫をしました。この防衛線の強固さが、元軍の上陸を阻む大きな要因となりました。